



平成 26 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 各務 嘉郎  
(コード: 6 6 6 9・東証 J A S D A Q)  
問合せ先 経営企画部門執行役員 梶原 慶枝  
(TEL. 0 7 5 - 4 1 5 - 8 2 8 0)

## 中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2015 年 7 月期から 2017 年 7 月期における中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を添付のとおりお知らせいたします。

以 上

# シーシーエス株式会社

## 第22期 - 第24期

(2015年7月期) (2017年7月期)

## 中期経営計画概要



※ 本資料に記載された情報は、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、  
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

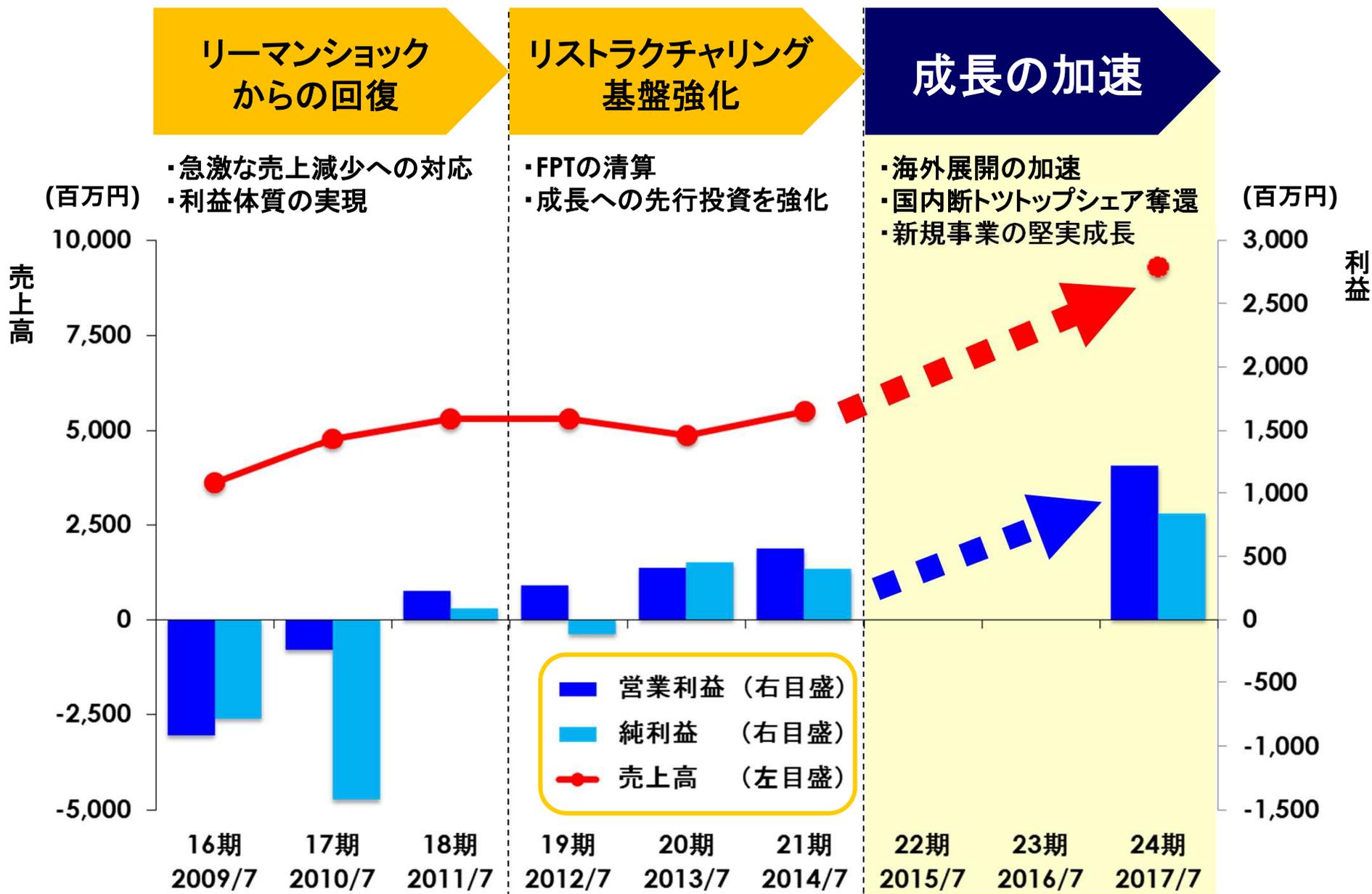
CCSグループは、「光を科学し、社会に貢献する」という基本理念のもと、画像処理用LED照明事業を中核とした「光の世界企業」を目指します。

1. 画像処理用LED照明市場において、圧倒的シェアのもと、業界のリーディングカンパニーとして、市場の進化・変化をいち早く捉え、蓄積してきた経験豊富なライティングソリューションとともに、お客様ニーズに適合する商品を次から次へと絶え間なく提供し続けます。
2. 「光」を核に、その周辺技術や光応用技術の研究開発を進め、その成果を世の中に広く知らせ提供することで、光関連事業の業界を牽引していきます。
3. 社会貢献の対価としての適正な利潤を得ることで、継続的な成長・発展をとげ、企業価値を向上し続けます。
4. お客様を幸せにし社会を豊かにすることが、自分の幸せや成長に繋がると、社員が心から思える働き甲斐のある職場を創ります。

## 長期的に目指す姿

- ・画像処理用LED照明事業
  - シェア                    国内:50%超                    海外:30%超
  - 売上比率                国内:50%                      海外:50%
- ・新規事業の売上比率            50%

# 本中期経営計画の位置づけ



# 成長の加速

不採算事業からの撤退を完結させ、MV事業へ経営資源を集中した結果、確実な利益創出を実現した  
今後3年間も、MV事業における更なる地位の強化と規模拡大を図るとともに、新規事業を堅実に成長させ新たな事業の柱を作る

## 海外展開の加速

- ・国内企業の海外工場移転や、目視検査における人件費の高騰により、発展途上国における検査自動化へのニーズが増大する
- ・海外各地域のニーズに適合する製品投入とアライアンスの積極推進により、未開拓地域を含む海外展開を加速する

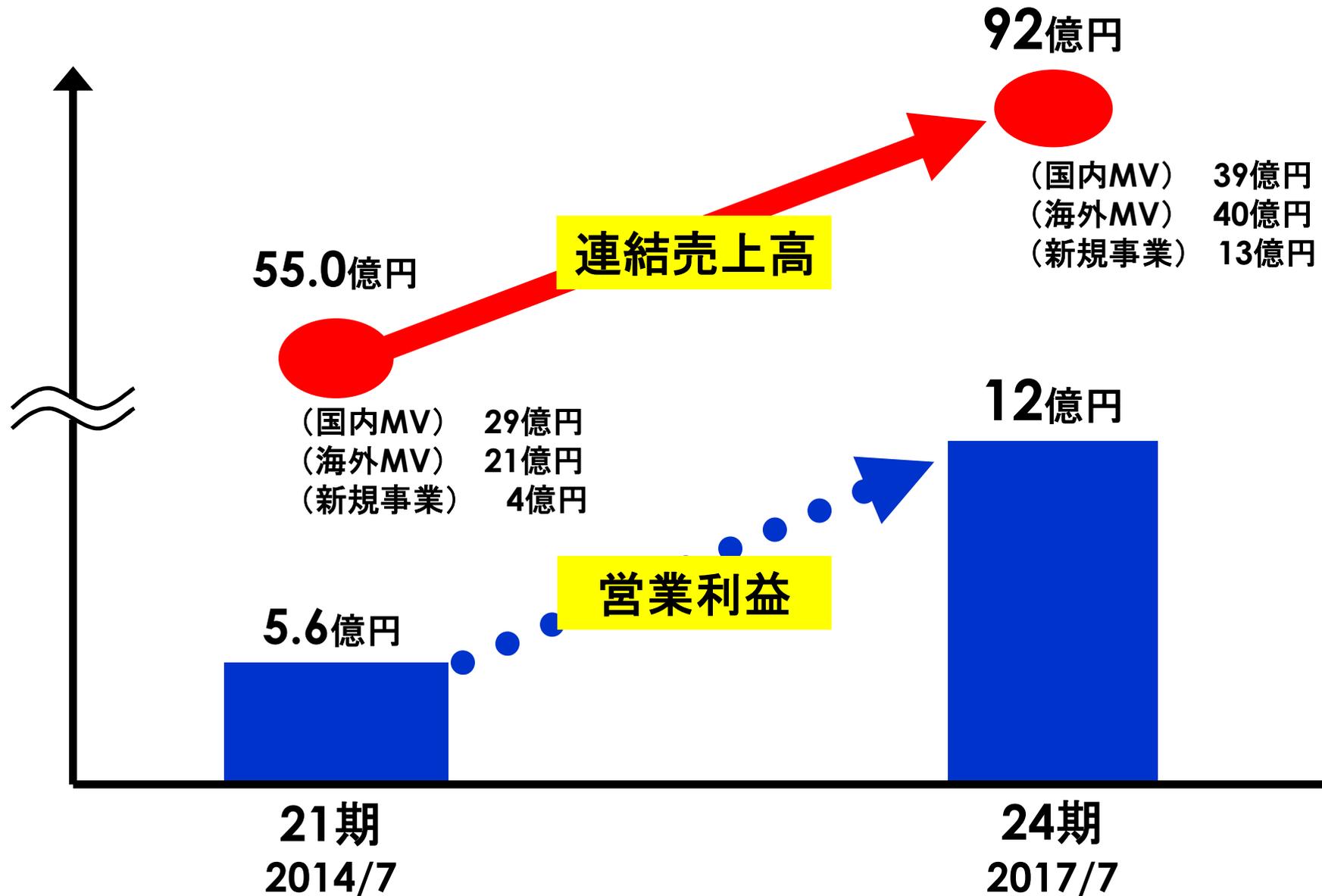
## 国内断トトップシェア奪還

- ・新製品の途切れることのない投入と特注対応、および心地よいサービスの提供で断トトップシェアを奪還し、国内における圧倒的優位性を保つ
- ・周辺商材の活用やアライアンス推進により、市場成長率を上回る売上高の伸長を目指す

## 新規事業の堅実成長

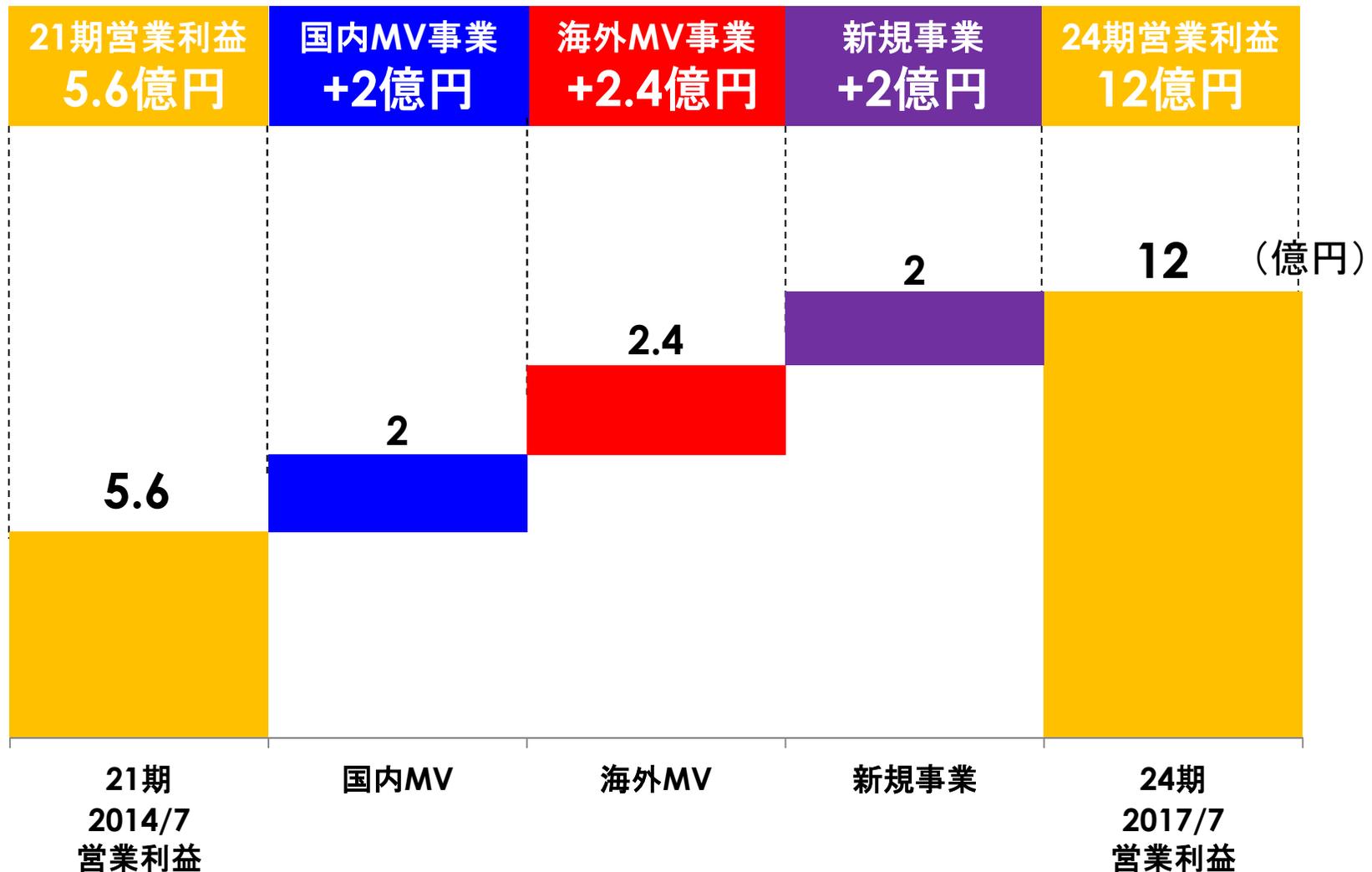
- ・現新規事業の成長性、実現可能性を常に検証し、事業ポートフォリオを再構築する
- ・新芽発掘のための調査・フィージビリティを継続して推進し、将来的にCCSを支える第2,第3の事業軸になることを目指す

# 中期経営計画 目標数値



# 利益創出のポイント

各事業分野の成長と全社生産効率UPにより営業利益を創出



# 重点施策

## 国内MV

- ・主力ユーザの囲い込みによる売上アップ
- ・競合他社攻略施策による売上アップ
- ・代理店の新規開拓による販路拡大
- ・単品売りから周辺商材を含むシステムソリューション営業への変革

## 海外MV

- ・代理店、画像メーカーとの連携強化
- ・新規大型顧客、プロジェクト案件の獲得
- ・新興市場など未開拓エリアへの侵攻（中南米・メキシコ・東南アジア）
- ・中国市場制覇

## 技術・研究開発

- ・イノベーションによる新技術、新商品創出
- ・ライバルを圧倒する技術・商品開発の短納期化と生産性UP
- ・技術の進化と深化を先読みできる技術人材の育成と組織力の強化

## 生産

- ・業界NO.1QCDを実現するモノづくり力
- ・ものづくりコア技術による製品の高付加価値化
- ・海外各地域の要求に即応できる海外生産拠点開発

## 新規事業

- ・代理店拡大・アライアンス実施等による上市済み製品の販路拡大および高収益化
- ・メディカル分野に特化したデバイス製品の展開
- ・成長性の高い新芽発掘のための調査・フィージビリティ推進

# 主な事業内容

## MV事業(コア事業)

創業事業として、現在の売上・利益の大部分を稼ぐ事業。  
今後も持続的な成長を期待。

### 画像処理用照明事業 (国内MV事業・海外MV事業)

- 工業用画像処理向けのLED照明の開発、製造、販売
- 創業以来、グローバルトップメーカーとして市場を牽引
- 堅調な売上成長・収益性で今後も継続的な利益創出の拡大を図る

## 新規事業

MV事業で培った技術を応用展開する事業。MVに次ぐ第2,第3の柱として育成企図。

### デバイスビジネス

- 高付加価値LEDデバイスの提供

### 美博照明

- 美術館、博物館への自然光LED照明の提供

### アグリバイオ

- 植物育成用LED照明の提供

### メディカル

- 医療用の特殊LED照明の提供

### UV照射器(新規FA)

- 接着・塗装・印刷用の紫外光照射器の提供